



2022

国語

注 意

1. 試験時間は、国語と社会を合わせて8:50～9:40の**50分**です。
2. 問題は ㊦ から ㊧ まであります。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけつけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

とりまく危機

じつはいま、シヤチという動物が、海の生態系の頂点にいたるために、^①ほかのどの動物よりもこうむっているわざわいがあります。海の水には、濃度は低くても、さまざまな汚染化学物質がふくまれています。かつて都市で使用された化学物質もあれば、農薬や殺虫剤など農村で使われた化学物質もあります。そうした物質は、雨水にとけこみ、川の水にとけこみながら海に流れでたものです。一部の化学物質には、大気中にまいあがり、雨とともに海にとけこんだものもあります。

有害であることがわかった農薬や殺虫剤で、何年も前に使用が禁止されたものがあります。しかし、以前使用された物質が、そのまま分解されず、あるいは形を変えて、海のなかにたまりつづけているものも少なくありません。

海は広大ですから、それぞれの物質の濃度は、さほど高いものではないかもしれませんが、^A、こうした物質は、プランクトンやそのほかの海の小生物によって体内にとりこまれると、それらを食べる動物により高い濃度でたまっていくこととなります。一般に、汚染化学物質は、食物連鎖のなかで、食べられるものより食べるものに、より高い濃度でたまっていきます。この現象は、「^②生物濃縮」と呼ばれています。

とすれば、食物連鎖の頂点にいたるシヤチに、高い濃度でたまっていてもけっして不思議ではありません。じつさい、アメリカや日本など、産業活動のさかんな場所の沿岸に生息するシヤチでは、地球上に生息するどの野生動物よりも多く、汚染化学物質を体のなかにためこんでいることがわかってきました。

この本の第1章で、カナダのジョンストン海峡やアラスカの沿岸にサケやマスなど魚類ばかりを食べるシヤチ（レジデント）と、アザラシやイルカばかりを食べるシヤチ（トランジエント）がいることを紹介しました。この海にすむアザラシやイルカは、サケやマスなどの魚類を食べますから、アザラシやイルカを食べるシヤチたちのほうが、サケやマスを食べるシヤチたちにくらべて、汚染化学物質の高い濃度でためこんでいることも明らかになっています。

こうした汚染化学物質が体のなかに高い濃度でためこまれたとき、どんな悪い影響があるか、完全に明らかになったわけではありません。^B、ガンになったり、免疫がうまく働かなくなったり、本来ならかからない病気にかかりやすくなったり、うまく子どもが産めなくなったりと、さまざまな影響があることがたしかめられています。

少し前のことですが、イギリスから新しい、悲しいニュースが届きました。ロンドン動物学会のポール・ジエブソン博士が報告したのですが、地中海や北海など西ヨーロッパの沿岸域では、すでにシヤチがほとんど姿を消し、わずかに残っているポルトガル沿岸でさえ、この一〇年以上にわたって新しい子どもが誕生していない——つまりは^③繁殖能力を失ってしまったのではないか、というのです。原因は、シヤチの体内に高い濃度でためこまれているPCBのせいです。

PCBは一九五〇年代に人工的に製造され、電気の絶縁体などに広く使われてきた物質です。ところが一九六八年には、PCBが食用油に混入し、これを摂取した人に肌の異常やさまざまな障害をひきおこした「カネミ油症事件」がおこりました。C それをきっかけに強い毒性が社会問題化して、一九七二年に製造が禁止されるようになった物質です。製造されなくなってからすでに四十数年経過したにもかかわらず、かつて使用されたものが地球上のあらゆる環境のなかに残りつづけ、シヤチをはじめとしたさまざまな生物のX を害しつづけているのです。

母から子へ

また、シヤチが自分の体に汚染化学物質をとりこんだとき、それが^④自分だけの問題でないことが、愛媛大学の田辺信介博士らの研究によって明らかになってきたのです。

メスが赤ちゃんをもったとき、そのメスがこれまで体内にためこんできた汚染化学物質の相当な量が、胎内で赤ちゃんにうけわたされてしまうのです。赤ちゃんが生まれたときに、まだ自分でえものをとっていないにもかかわらず、すでに相当量の汚染化学物質を体のためこんでいるのです。

さらに、赤ちゃんシヤチはお母さんからおっぱいをもらって育ちますが、おっぱいにもお母さんシヤチがとりこんでいた汚染物質が、高い濃度でふくまれています。D、赤ちゃんが自分でえものをとるようになったときには、さらに新たな汚染物質をとりこむことになります。

赤ちゃんシヤチが成長して、次に自分が子どもをもつときには、自分が母親の胎内で汚染物質をうけついでるように、自分の赤ちゃんに汚染物質をわたしてしまうことになります。しかも、自分自身がえものをとるようになってからも汚染物質をとりこみつづけるのですから、自分が母親からうけついでたのよりも高い濃度で、自分の子どもにうけわたしをしてしまうことは、容易に想像できます。シヤチの母親が子どもに伝えるのは、独自の「伝統」^cやくらしかただけではなかったのです。

たとえいまこの瞬間、ぼくたち人間が汚染物質をいっさい海に流しださないようにしたとしても、また海水中の汚染物質の濃度がさほど高いものでないにしても、現時点でシヤチの体に高い濃度でためこまれている汚染物質は、母親から子どもへとつたえられながら、気が遠くなるほどの長い期間にわたって、彼らの健康に大きな影を落とすつづけるのです。

生態系の頂点に立つシヤチたちが健全に生きることができるとは、彼らがすむ海が健全であるか、ひいてはぼくたちがすむ惑星が健全であるかどうかの、大きな指標でもあります。将来にわたって、世界の各地の海で生きるそれぞれのシヤチたちが健全に生きつづけることができるかどうかは、^⑤ぼくたち人間のふるまいにかかっていることを改めて心したいと思います。

(水口博也『世界の海へ、シヤチを追え!』による)

問一 波線部 a 「原因」・ b 「容易」・ c 「伝統」の対義語を、次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- ア 理由 イ 平易 ウ 得意 エ 形式 オ 革新
カ 結果 キ 困難 ク 真実 ケ 安心 コ 未熟

問二 空欄 A ～ D には「しかし」か「そして」が入ります。その組み合わせとしてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア (A) そして (B) そして (C) しかし (D) しかし
イ (A) そして (B) しかし (C) そして (D) しかし
ウ (A) そして (B) しかし (C) しかし (D) そして
エ (A) しかし (B) そして (C) そして (D) しかし
オ (A) しかし (B) そして (C) しかし (D) そして
カ (A) しかし (B) しかし (C) そして (D) そして

問三 傍線部①「ほかのどの動物よりもこうむっているわざわい」とありますが、ここでの「わざわい」とはどのようなものですか。三十五字以内で説明しなさい。

問四 傍線部②「生物濃縮」とありますが、これについて具体例をあげて詳しく説明している一文を本文中から抜き出し、最初と最後の五字ずつを答えなさい。

問五 傍線部③「繁殖能力を失ってしまったのではないか」とありますが、失った結果どうなると考えられますか。自分で考えて二十五字以内で説明しなさい。

問六 空欄Xに入る言葉を、本文中から二字で抜き出して答えなさい。

問七 傍線部④「自分だけの問題でない」とありますが、このように考えられる理由としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 汚染化学物質をとりこむと、さまざまな生物の頂点に立つことができるから。
- イ 汚染化学物質をとりこむと、他の生物がとりこむことを防ぐことができるから。
- ウ 汚染化学物質をとりこむと、ほかの仲間にも病気をうつす恐れがあるから。
- エ 汚染化学物質をとりこむと、それが次の世代にも引き継がれてしまうから。
- オ 汚染化学物質をとりこむと、障害をひきおこして人間を襲ってしまうから。

問八 傍線部⑤「ぼくたち人間のふるまいにかかっている」とありますが、それはなぜでしょうか。筆者の考えにそって、九十字以内で説明しなさい。

問九 本文の説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア シヤチの危険性を具体的に述べながら、化学物質を用いて共存していく方法を模索している。
- イ シヤチの子育ての問題点を整理しながら、健全に生き続けられる方法を人々に指導している。
- ウ シヤチが生態系の頂点に立つことで、他の生物の健康が脅かされていることを警告している。
- エ シヤチが絶滅の危機に陥ってしまったのは、人間が捕獲しすぎたせいだと批判している。
- オ シヤチがこうむっている災いを題材とし、環境問題に自覚をもつよう人々に提唱している。

二 次の語句・漢字についての問いにそれぞれ答えなさい。

問一 波線部の言葉の意味としてもっとも適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- ① 主役を任せるのにうってつけの人がいる。
 - ア 急に話をされても平気であること。
 - イ 合格できる段階に達していること。
 - ウ 周囲の人々がみな安心できること。
 - エ ぴったりと当てはまっていること。
 - オ 見た目がよく似通っていること。

② 友だちの発言についてあげ足を取る。

ア 細かい部分や言いまちがい、責めたりからかったりすること。

イ 最初からまちがいだと決めつけ、きちんと聞こうとしないこと。

ウ 一つひとつ細かく確認して、さらに正確さを追求すること。

エ 真面目に受け止めるからこそ、あえて反対意見を言うこと。

オ 全体的には賛成しつつ、より良い意見を出していくこと。

③ 現在やっていることは、すべて身から出たさびだ。

ア あまりにも昔なので、調子を取りもどせないこと。

イ そもそも理由と結果がはっきりしていること。

ウ 自分自身でやりたいと考え、実行していること。

エ もっともな結論に自分でも納得していること。

オ 自分のしたことが原因で、自分が苦しむこと。

問二 波線部について説明したあとの意味を参考にして、空欄X・Yに入る適当な言葉を漢字、一字で答えなさい。

① 受験に向けて、一心（ X ）（乱）に学習に取り組んだ。

……一つのことに集中し、他のことは考えないこと。

② 委員会にも慣れて、自分の役目がすっかり（ Y ）（ ）についできた。

……動作や身なりがその人にぴったり合うこと。

三

次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① 災害現場をシサツして救助の計画を立てる。
- ② サイタマ県の主な作物はネギやサツマイモだ。
- ③ どちらが上手に絵を描けるかキョウソウする。
- ④ 夜おそくまでハリシゴトに精を出す。
- ⑤ 選挙で選ばれた政府が国家をオサめる。

三

二

一

②×5

②×2 ②×3

④

⑧

④

③

④

③

⑥

②

②×3

①	問二	問一	問九	問八				問七	問六	問五	問四	問三			問二	問一			
視察	X	①	オ	し	流	い	ひ	学	シ	エ	健	絶	子	こ	と	た	汚	カ	a
	不	エ		た	し	る	い	物	ヤ		康	減	孫	の	。	ま	染		カ
②	Y	②	行	た	。	て	質	チ		に	を	海		り	化	キ	c		
埼玉	板	ア	動	の	そ	は	は	の		つ	残	に		、	学		オ		
			③	が	は	の	地	、	体		な	す	す		健	物			
③			必	人	汚	球	シ	に		が	こ	く		康	質	c			
競争		オ	要	間	染	環	ヤ	た		る	と	て		に	が				
	④		だ	で	化	境	チ	め		。	が	い		悪	高				
針仕事			か	あ	学	全	の	こ			で	ま		影	い				
			ら	る	物	体	健	ま			き	す		響	濃				
治(める)			。	こ	質	を	康	れ			な	。		を	度				
				と	を	汚	を	た			く			与	で				
				を	作	染	害	汚			な			え	体				
				自	り	し	し	染			り			る	内				
				覚	、	て	、	化			り			こ	に				

国語

解答用紙

注意

一字数制限の問題では、句読点も一字として数えます。

受験番号		フリガナ		得点	
		氏名			